

令和7年飯田市議会第3回定例会 一般質問通告表

令和7年9月9日、10日

No.	氏名	項目・要旨
1	長谷部春生 (会派きぼう) 【40分】	<p>1 飯田学園構想と学校施設整備について</p> <p>(1) 飯田学園構想の現在地は</p> <p>① 4月から現在までに明らかになった学園構想の課題は</p> <p>② 児童、保護者からの評価、意見、要望は</p> <p>(2) 学校施設・設備の状況は</p> <p>① 学校プールの在り方は</p> <p>ア プールの現状は</p> <p>イ プールの今後の活用方法は</p> <p>② 学校体育館の在り方は</p> <p>ア 体育館の現状は</p> <p>イ 体育館の暑さ対策に対する課題認識は</p> <p>ウ 学校以外の飯田市所有の社会体育施設の体育館の状況は</p> <p>2 特定ごみの処理について</p> <p>(1) リチウムイオン電池の廃棄方法は</p> <p>① 具体的な取組の状況は</p> <p>② 広報の方法は</p> <p>ア アプリ「さんあ〜る」の認知度は</p> <p>イ チラシ等の配布状況は</p> <p>(2) 特定ごみの適正処理は</p>
2	小平彰 (新政いいだ) 【30分】	<p>1 リニア駅周辺整備について</p> <p>(1) リニア駅前広場整備について</p> <p>① 一部供用開始までのスケジュールは</p> <p>② どのような施設や整備を行うか</p> <p>ア 建設費及び年間維持費は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	小 平 彰 (新政いいだ) 【 30 分 】	③ 大屋根の整備について ア 建設費及び維持管理は イ 木材で作らない場合を検討したのか ウ 市民の意見はどのように捉えているか ④ 運営事業体の考え方は ⑤ 賑わい創出施設とは ア 建設費は イ どのような構想で賑わいを創出するか (2) 駅前広場を除くリニア駅周辺のまちづくりについて ① 駅周辺のまちづくりをどのように考えているか ② リニア駅と周辺へのアクセスはどのように考えるか
3	古 川 仁 (日本共産党) 【 30 分 】	1 安心・安全なまちづくりについて (1) 災害時における地下水利用は ① 国は、「災害時地下水利用ガイドライン～災害用井戸・湧水の活用に向けて～」をこの3月に示したが市の対応は ア ガイドラインの概要は イ 井戸所有の企業との協定締結を積極的に進めるとあるが現状はどうか ウ ガイドラインを進める上での課題は 2 飯田市地域ポイント付与による地域通貨実証実験事業について (1) 実態を把握し、効果検証につなげるためのアンケートを実施したが市民の反応は ① この事業をさらに広めるためには
4	森 本 紘 司 (新政いいだ) 【 40 分 】	1 地域医療・医師確保について (1) 市内にある診療所における地域医療体制について ① 診療所数の推移は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	森 本 紘 司 (新 政 い い だ) 【 40 分 】	<ul style="list-style-type: none"> ② 医師の年齢の推移は ③ 若い医師のIターンやUターンの実績は ④ 医師不足に対し市の対策は ⑤ 閉院予定の医師と開業希望の若い医師とを繋ぐマッチング事業の取組は <p>(2) 休日夜間急患診療所について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 現在の利用実績は ② 医師や看護師の勤務体制は ③ 専属の医師を雇用する考えは <p>2 子育て支援について</p> <p>(1) 屋内での遊び場設置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 設置に向けた現在の取組状況は ② 今後の取組計画は <ul style="list-style-type: none"> ア 市民を交えたプロジェクトを立ち上げる考えは イ 整備のスケジュールをどう考えるか
5	岡 村 弘 子 (公 明 党) 【 40 分 】	<p>1 飯田市における持続可能な医療提供について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 少子高齢化が進む中で、持続可能な医療について支えられる側・支える側からも不安の声が上がっている。今の地域医療について市はどう認識し受け止めているか (2) 飯伊地区包括医療協議会や地域医療構想調整会議の役割と現状、それに関わる市の連携は (3) 地域の病院や診療所等の、医師の確保に対する市の取組の効果と問題点、それを踏まえた今後の取組は (4) 人手不足や物価高騰など持続可能な医療提供には今後も課題は続くと思われるが、財政支援を含め、医療従事者や市民の不安解消に向けた具体的な取組はあるか <p>2 看護師不足について</p> <p>(1) 地域の病院や診療所等（福祉的職場を含む。）の看護師の働く職場で、人手不足の実態把握と課題認識は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	岡 村 弘 子 (公 明 党) 【 40 分 】	(2) 看護師の数を増やしていくための取組として、地域への就職や復職支援は (3) 市立病院の看護師の働き方について ① 勤務体制や長時間労働に対する配慮は ② メンタルヘルスなど職場環境に対する取組は ③ これらの取組に対する職員の評価は (4) 看護師をはじめ働く女性を応援する取組について、市の考えは
6	宮 脇 邦 彦 (公 明 党) 【 40 分 】	1 こどもを地域で育てる取組について (1) 子育ての孤立化を防止する地域社会へ ① 少子化の中で、子育て世帯を孤立化させないためにどう寄り添うか (2) 「こども誰でも通園制度」の活用について ① 「こども誰でも通園制度」の概要は ア 現行の「一時預かり事業」との違いは ② 試行的事業における、利用登録者数及び延べ利用者数、利用者からの反応など、その実態把握と受け止めは ③ 「こども誰でも通園制度」の意義について ア こどもの成長から見た場合の捉え方は イ 利用する保護者にとっての捉え方は ウ 現場を預かる保育者にとっての捉え方は エ 運営に携わる事業者にとっての捉え方は ④ この制度の意義を実現するための自治体の役割とは ⑤ 今年度の本格導入を踏まえて、当市での実施方法・規模などその方向性は ⑥ 保育人材等、その受け皿確保への取組は ⑦ 要支援家庭のほか、障がいがあるなど特別な支援ニーズがある場合の受け入れ体制は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	宮 脇 邦 彦 (公 明 党) 【 40 分 】	⑧ 保育者間のコミュニケーションや情報共有の在り方をどう考えるか ⑨ 「こども誰でも通園制度」の本格導入に際して、市長の見解は
7	大 平 雲 龍 (会 派 き ぼ う) 【 50 分 】	1 スタートアップ支援制度及び誘致について (1) 市のスタートアップ支援体制は十分か ① 市のスタートアップ支援制度の設計・情報発信・伴走支援体制はどうか ② 他地域と比較して十分か (2) 他の支援制度との比較はどうか ① 「信州スタートアップステーション」などの起業支援拠点や「創業支援事業補助金」など他の事例をどう評価し、参考にしているか ② 市として、類似拠点の開設や支援制度の構築をどう検討しているか (3) 地域資源を活用した新規事業への支援は十分か ① 市を通じて国に申請する助成金等の支援制度に対し、市はどこまで把握し、情報発信や伴走支援体制を確立しているか ② 市内事業者の申請状況（相談も含む。）と採択事例はどうか 2 若者の定着を促進するための環境づくりについて (1) 若者のUターンや定着の現状と課題はどうか ① 若者の流出入の実態は ② 現状をどう評価し、課題をどう認識しているか (2) 夢を地域で実現できるキャリア形成の道筋はどうか ① 教育・産業・地域コミュニティと連携したキャリア形成の道筋をどう描いているか (3) Uターンした若者が挑戦できる「フィールド」の整備について、若者が「帰って挑戦したい」と思える具体的な仕組み（資金支援、拠点整備、企業連携プラットフォーム等）をどのように検討しているか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
8	福 澤 克 憲 (会派きぼう) 【 40 分 】	<p>1 地域内経済の循環、地域循環型農業から見た飯田市の「畜産業」について</p> <p>(1) 第1次産業（畜産業）の重要性の考え方は</p> <p>(2) 畜産業の現状について</p> <p>① 農業産出額における畜産の割合は</p> <p>② 畜産農家数と飼育頭数は</p> <p>③ 畜産業の流通（生産から食卓までの流れ）の状況は</p> <p>(3) 今後に予定されている長野県食肉公社（松本市）閉鎖の影響について</p> <p>① 飯田市営と畜場（S35～55年）から始まり現在の状況となった経過は</p> <p>② 長野県食肉公社のR6年度と畜頭数（牛・豚）と南信州地域からの豚の出荷頭数は</p> <p>③ 長野県内唯一の食肉処理施設となる北信食肉センター（中野市）の現状は</p> <p>(4) 喫緊の課題について</p> <p>① と畜の空白期間を避けるための代替策は</p> <p>② 輸送費支援、輸送時間の考え方は</p> <p>③ 内臓（ホルモン）、カシラ、豚トロなどの流通確保は</p> <p>(5) 今後の方向性について</p> <p>① 長野県の支援、飯田市としての施策の必要性は</p>
9	市 瀬 芳 明 (日本共産党) 【 40 分 】	<p>1 地域全体の防災力向上を目指した学校と地域が連携した取組の強化は</p> <p>(1) 市内小中学校における学年に応じた体験的な防災教育の取組と防災訓練の実施状況について</p> <p>① 年間の訓練回数や実施内容の標準的な取組状況はどうか</p> <p>② 消防署や防災士など外部機関と連携した授業はどの程度実施されているか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	市瀬 芳明 (日本共産党) 【 40 分 】	<p>③ 避難所運営体験など、実践的な学習をさらに広げる考えはあるか</p> <p>(2) 家庭や地域への波及効果について</p> <p>① 地域防災訓練に児童・生徒が参加している実績と評価はどうか</p> <p>② 児童・生徒が学んだ内容を家庭に持ち帰り、家族と避難計画を立てる取組はあるか</p> <p>③ P T Aや地域住民と連携した防災教育の強化について、市の考えは</p> <p>(3) まちづくり委員会間での防災協定の必要性は</p> <p>2 よりよい介護の環境を目指した取組を今後どのように考えていくか</p> <p>(1) 要介護認定について</p> <p>① 市における要介護認定の決定までに要する日数の平均はどのくらいか</p> <p>② 認定が遅れることによる影響について</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 申請者への影響は</p> <p style="padding-left: 2em;">イ 事業者への影響は</p> <p>③ 影響をどのように受け止め、迅速化に向けた取組をどう考えるか</p> <p>(2) 介護予防の現状と今後の展開について</p> <p>① 事業内容と効果について</p> <p>② 今後の方向性について</p> <p>(3) 介護職員へのカスタマーハラスメント防止対策について</p> <p>① 市における介護職員へのカスハラが発生状況や相談件数をどのように把握しているか</p> <p>② 市独自の実態調査を行う考えはあるか</p> <p>③ 介護事業所への支援について、介護事業所におけるカスハラ防止マニュアルの整備や職員研修の実施を、市としてどのように支援しているか</p> <p>④ 2025年の労働施策総合推進法改正により、全ての事業者にカスハラ防止措置が義務化されることを踏まえ、市としてどのような対策を進めていくか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
10	正 木 利 幸 (新政いいだ) 【 60 分 】	<p>1 2028国民スポーツ大会開催と市民とスポーツの関わりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 国民スポーツ大会開催に向けて市の取組は (2) 「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」へと名称が変更したことを、どのように捉えているか (3) 飯田市の「生涯学習・スポーツ課」が市民に果たしていく役割は何か (4) 改めて、令和の時代に即した国民スポーツ大会を、どのように考えるか <p>2 農業の地域経済循環の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 「飯田市地域循環型農業推進方針」の策定背景は (2) 給食施設から循環へ回る食品残さの量や割合は (3) 課題をどう捉えているか (4) 「飯田市有機農業実施計画」の策定背景は (5) 循環農業に化学肥料の必要性を認めるか (6) 循環農業を推進していく上で必要な取組は
11	下 平 恒 男 (新政いいだ) 【 30 分 】	<p>1 農地の有効活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 遊休農地削減の取組と効果について <ul style="list-style-type: none"> ① 当市で把握している農地の中で、耕作されていない農地の面積と割合は ② 遊休農地削減に向けた取組と、農業振興センターを通じた補助事業の状況は ③ 非農地認定の状況は (2) 農業経営基盤強化促進法による利用権設定について <ul style="list-style-type: none"> ① 令和7年3月をもって、当事者間での設定が廃止となった経過は ② 手続変更後の概要は ③ 令和7年3月以前に利用権設定した方への対応は (3) 当市における国有農地の状況について <ul style="list-style-type: none"> ① 現状の面積と利用状況は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	下 平 恒 男 (新政いいだ) 【 30 分 】	② 国有農地への市の関わりは ③ 相続土地国庫帰属制度の概要と、農地の関係する事例はあるか (4) 地域計画の策定の進捗状況について ① 各地区の取組状況は ② 地域計画の策定を農地の有効活用にどうつなげるか
12	片 町 元 彦 (会派きぼう) 【 40 分 】	1 飯田市における「ふるさと納税」の現状とさらなる拡大について (1) 現在までのふるさと飯田応援隊募集事業について ① ふるさと飯田応援隊募集事業の目的は ② どのような手段で寄附ができるか ③ 返礼品提供事業者数の推移は ④ 過去3年間の返礼品トップ5品目は (2) ふるさと納税の使い道について ① 今年度の寄附金額の目標と見通しは ② 寄附金はどの分野で使われるか (3) 今後の取組について ① 選ばれるための広報活動は ② 産地管理チェック体制は ③ 新企画の考えは
13	松 岡 秀 治 (会派きぼう) 【 40 分 】	1 再生可能エネルギー問題について (1) 里山の資源を財産と捉えた取組について ① 里山や竹林等の課題に対する市の考えは ② 里山の資源を財産と捉え、経済的に循環を促す新たな取組は (2) 太陽光パネルの普及に伴う影響について

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	松 岡 秀 治 (会派きぼう) 【 40 分 】	<ul style="list-style-type: none"> ① 森林を伐採し太陽光パネルを設置することについて市の考えは ② パネル設置者による適正な管理を確保する方法は ③ パネルの処分方法について市は把握しているか ④ 今後廃棄処分される量の把握と受け入れ体制は ⑤ 設置者による適正な廃棄を担保する仕組みは ⑥ 通信障害や不審な通信機器による影響の把握と対応策は ⑦ 火災発生時の緊急対応は ⑧ 災害時における対応について市の考えは
14	水 月 レ イ (会派きぼう) 【 40 分 】	<p>1 新型コロナウイルス感染症について</p> <p>(1) 新型コロナが流行してからの状況は</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 飯田市における死亡者数は <ul style="list-style-type: none"> ア ワクチン接種が始まった2021年前後の死亡者数の推移は イ 年代別の死亡者数の推移の状況は <p>(2) 新型コロナワクチン接種について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 飯田市での接種状況は <ul style="list-style-type: none"> ア 年代別の接種状況は イ こども若者の接種状況は ウ 重症化しないと言われているこどもや若者にも接種したことについてどう考えるか ② 新型コロナワクチン接種後の副反応について <ul style="list-style-type: none"> ア 全国的に新型コロナワクチン接種後の体調不良や死亡報告があるが、救済制度の申請及び認定状況は イ 認定者のmRNAワクチンと組み換えタンパクワクチンの接種の内訳は ③ 予防接種健康被害救済制度について市は市民に周知しているか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	水 月 レ イ (会 派 き ぼ う) 【 40 分 】	<p>ア 新型コロナワクチンとの因果関係を疑う方が救済制度を利用しやすくなるように、市としてできることは何か。また、現在の相談状況は</p> <p>イ 大阪府泉大津市では市独自の救済制度を設けているが、飯田市でも同様の取組が必要と考えるがどうか</p> <p>(3) 今後の対応について</p> <p>① 新たなウイルス等が流行した場合に市独自で市民の命を守る対策が必要とを感じるがどのように考えるか</p> <p>② 泉大津市は市独自で新型コロナワクチンについて、市民に必要な情報提供をしてきた。飯田市でもこの手法を参考に、市民に情報提供をしっかりと、判断、選択をしてもらうための取組は</p> <p>③ 感染症に対する市民の自己免疫を上げるため、市として考えることは何か</p>
15	遠 山 雄 (会 派 き ぼ う) 【 60 分 】	<p>1 環境文化都市の取組について</p> <p>(1) ソーラーパネルの更新によって排出されるパネルの環境、災害、自治体への影響と住民負担は</p> <p>① ソーラーパネルに含まれる物質や製造過程で排出されるCO₂の環境負荷をどう捉えているか</p> <p>ア 環境に与えるリスクを防ぐ具体的な策はあるか</p> <p>イ 電気料金にはその分の負担を生じさせているが、このことをどう捉えるか</p> <p>② 環境文化都市の取組の実績とソーラーパネルなど海外製造された製品の購入は</p> <p>ア 再生可能エネルギー推進によるCO₂削減実績の具体的なデータはあるか</p> <p>イ データは、市民が確認することができるか</p> <p>ウ 人権問題を踏まえたソーラーパネル調達方針を策定する考えはあるか</p> <p>2 来訪者を増やすための情報発信について</p> <p>(1) 飲み歩き文化を観光の軸とする取組は</p> <p>① 「丘のまちバル」のような飲食店を中心にしたイベントの今後の展開は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	遠 山 雄 (会派きぼう) 【 60 分 】	<p>(2) 外部インフルエンサー活用の現状と課題は</p> <ul style="list-style-type: none"> ① インフルエンサー活用の現状は ② 地元出身の著名人やインフルエンサーとの提携も重要だが更に外部インフルエンサーを登用する考えはあるか ③ 予算、人的資源、戦略の優先順位などの考えは ④ 外部インフルエンサーの活用が若者への訴求や地元離れの防止につながると思うがどうか <p>3 人口減少対策移住促進の取組について</p> <p>(1) 飯田市の人口減少、特に若い世代の流出に対する現状と要因は</p> <p>(2) 市の移住促進の取組は</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ターゲットは ② 移住定住の外部リーチを最大化するためのデータ分析、目標数に向けた情報発信の状況は <p>(3) 観光や移住定住などの情報を総合的に発信する計画は</p>
16	野 崎 直 仁 (無会派) 【 40 分 】	<p>1 リニア駅周辺整備と土地利用計画・都市計画について</p> <p>(1) リニア駅周辺整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① リニア駅前の土地取得の目処が立ったが、売却していただいた移転者への思いは ② 移転が多く必要となるような場所に駅の設置が決まった経緯は ③ 土地区画整理事業で整備しなかったのはなぜか ④ 岐阜県では県が主導して土地区画整理事業を企画していたが、飯田市における県との連携はどのようなものがあったか ⑤ リニア駅周辺整備について J R 東海との連携が十分であったか <p>(2) リニア開業の遅れに対する対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 2021年1月に市民有志の都市計画勉強会「伊那谷の新しい地図をつくる会」が開業の遅れを見通して市長に整備計画の見直しを提言した件について

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	野 崎 直 仁 (無 会 派) 【 40 分 】	<p>ア 提言の内容をどう受け止めたか</p> <p>イ この段階でリニア開業の遅れを考慮して整備計画を見直せば整備費のより効率的な運用ができたとは考えないか</p> <p>② リニア駅周辺整備事業公民協働ブランドクリエイトプロジェクトについて</p> <p>ア リニア開業が遅れることが決定したにもかかわらず当初の開業予定に沿って公民協働ブランドクリエイトプロジェクトを継続しているが、中止すべきではないか</p> <p>イ 継続した場合は、当面はリニア駅前ではないただの広場での事業になるが、応募者及び採算の見込みはあるのか</p> <p>③ リニア開業が10年以上先になることから少なくとも向こう10年間の広場の有効活用として「道の駅」が考えられるが、これについてはどうか</p> <p>(3) 飯田市土地利用計画審議会・都市計画審議会について</p> <p>① 市民一般公募枠3名について</p> <p>ア 過去3回連続して定員に満たないが、応募人数と採用人数については</p> <p>イ 1名のみ採用に留まり他の応募者を採用しなかったことがあるのはなぜか</p> <p>ウ 現在の公募委員の選出に問題があるとは考えないか</p> <p>② より多くの市民が興味を持ち積極的に関わりたいと思えるような取組は考えられないか</p> <p>(4) 飯田市の土地利用計画・都市計画について</p> <p>① 今まではリニア駅周辺にはまちを作らないとの方針であったが、高さ規制も含めてこれを全面的に見直す考えはないか</p>